

議案第20号

平成30年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

上記の議案を提出する。

令和元年8月21日

鳥栖市教育委員会
教育長 天野 昌明

(提案理由)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、平成30年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、公表する必要があるため、鳥栖市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則第2条第1項第20号の規定によりこの案を提出する。

議案第20号 資料

平成30年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

1 根拠法：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条

- ・教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- ・教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

- ・教育委員会会議と教育委員の活動状況
- ・鳥栖市教育プランに掲げる12施策および主な取組

3 点検・評価の方法

教育委員会による自己評価及び学識経験者2名（福岡女学院大学副学長伊藤文一氏、久留米大学教授徳田智代氏）による外部評価を実施

4 評価の経緯

平成31年4月定例教育委員会	点検評価の進め方、学識経験者候補について承認
平成31年4月中旬	学識経験者への外部評価依頼
令和元年6月上旬	自己評価の実施
令和元年6月定例教育委員会	点検評価報告書（自己評価案等）の協議
令和元年6月下旬～	学識経験者への自己評価等の内容説明
令和元年7月中旬～	外部評価の実施、点検評価報告書（最終案）の作成
令和元年8月定例教育委員会	点検評価報告書（最終案）の審議

5 点検評価報告書（最終案）

別冊のとおり

6 今後の予定

令和元年9月 市議会に報告書を提出・市ホームページにて公表

7 外部評価における主な指摘

(1) 教育委員会会議と教育委員の活動

- ・「鳥栖市教育の日」をもっとアピール、活用することにより、「子どもたちに見せたい鳥栖の未来」について考えるいい機会になると思う。
- ・教育委員会の活動や成果についてもっと地域住民に知ってもらうため、ホームページのトップページに定期的にトピックスとして取り上げて注目してもらったうえで、「教育委員会」のページで随時新しいニュースを掲載してはどうか。
- ・ホームページに関して、「こころの悩み相談」に受付時間をいれてほしい。また、教育相談や適応指導教室などについても具体的な情報を増やしてほしい。
- ・子どもに関する相談については、各部署、各課の連携を図り、最初の相談窓口が一本化できるとさらによい。

(2) 鳥栖市教育プランに掲げる事業

【学力向上】

- ・基礎学力・学習意欲の向上はみられるが、非認知スキル（自制心、意欲、忍耐力等）の研究も必要になってくると思われ、地域行事に参加する子どもの学力が高いと言われているので、地域との連携も必要。
- ・新教科「英語」の導入準備に関しては、小学校においてALTを活用する体制をどのように整えているか示してもらいたい。

【豊かな心】

- ・教職員とは違う人材が別室登校の児童生徒に関わるメリットも大きいと考える。
- ・不登校への支援という点からも児童虐待の未然防止・早期発見という点からも、今後は福祉分野との連携を充実させていくことが重要。

【特別支援】

- ・特別な支援を必要とする児童生徒が急増しており、支援体制を早急に整える必要がある。
- ・担任の先生や生活指導補助員等への支援や研修の充実が不可欠。
- ・小学校では適応指導教室に希望者全員が入級できるようになったが、中学校は通級指導教室がないので設置をお願いしたい。

【家庭・地域との連携】

- ・家庭・地域に信頼されるためには保護者、地域の方々のニーズに応えることも大切であるので、保護者、地域住民（自治会長）アンケートをお願いしたい。
- ・コミュニティ・スクールが導入され、その成果がうかがわれる。今後の効果的な展開のためにも、成果と課題の分析を楽しみにしている。

【生涯学習】

- ・生涯学習社会の実現には、社会人の学習環境・学習成果の評価について指標が必要だと考える。
- ・図書館外事業の充実として、朝読を実施している学校と連携をとりながら、司書が選書して学級に貸し出すことや調べ学習に必要な書籍に関しては貸出冊数を多くして、学校ごとに貸し出すシステムを作るなど検討してはどうか。

【人権教育】

- ・ LGBTQ や SOGI についても取り上げるとよいのではないか。

【歴史・文化財】

- ・ SNS による情報発信や市民目線でのアイデア収集等、様々な工夫がされており、今後更なる積極的な発信を期待する。
- ・ 小中学校への学習支援がより積極的になされることを期待する。